

【1】8番 土屋 利江 議員

- 1 行財政運営と第12次基本計画後半に向けた今後の市政経営について
 - (1) 令和8年度の市政経営の基本姿勢について
 - (2) 基金の運用について
 - (3) 限られた財源・人材の重点配分について
 - (4) 第12次基本計画後半に向けた市長の決意について
- 2 施政方針について
 - (1) 防災・減災の取組について
 - (2) 脱炭素先行地域づくり事業について
 - (3) こども家庭センターの現状と課題について

【2】9番 掛川 剛 議員

- 1 令和8年度施政方針について
 - (1) 重点施策推進に伴う市民協働のまちづくりのあり方について
 - (2) 重点施策である芦原新校開校に向けての今後の課題について
 - (3) 芦原新校開校後に控える小諸東中学校区の課題について
- 2 令和8年度予算編成について
 - (1) 人口減少時代の自主財源確保について
 - (2) 小諸東中学校区の学校再編を見越した予算編成のあり方について

【3】10番 小林 一彦 議員

- 1 小諸市の財政状況について（パネル使用）
 - (1) 小諸市の現在の財政状況の課題について
- 2 大型事業の進捗状況等について
 - (1) 脱炭素先行地域づくり事業について
 - (2) 産業団地整備事業について
 - (3) 歴史的な建物、景観が残る町並みの保存・活用について

【4】 17番 清水喜久男 議員

1 令和8年度施政方針について(パネル使用)

- (1) こどもたちの育ちと学びに繋がる小諸東中学校区の義務教育学校の整備方針について
- (2) 他市で実施している小学校の給食費無償化と黙食について
- (3) 市民に寄り添う窓口業務（相続登記・おくやみ手続き）について
- (4) 行財政改革と市政運営を考えた組織改革と保育園再配置計画について

2 令和8年度予算について（パネル使用）

- (1) 前年度比28億3千万円増の237億円の一般会計の増額事業内容と重点事業について
- (2) 安全安心に繋がる市道整備、維持補修工事の予算額と地区要望額との整合について
- (3) 雇用促進・移住促進につながる佐久平駅からのアクセス道路整備の進捗状況について

【5】 2番 中村美奈子 議員

1 令和8年度予算編成方針について

- (1) 人口減少社会が進む中、様々な検証結果を見据えた上での小諸市のビジョンについて
- (2) 今後の財政見通しと戦略について

2 会派から提出した市長への政策提言について(パネル使用)

- (1) 教育投資に関わる提言内容の方向性について
- (2) 現在、将来に向けたまちづくりに関わる提言内容の方向性について

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【1】 7番 高橋 公 議員

- 1 「佐久平駅アクセス道路」について
 - (1) 新設整備の進捗について
 - ① 令和7年度計画の実施状況はどうか
 - ② 佐久市・県とはどのような意見交換をしているか
 - ③ 令和8年度以降の計画はどうか
- 2 「こもろ愛のりくん」について
 - (1) 愛のりくんの佐久平便の試験運行について
 - ① 実績はどうか
 - ② 評価と今後の計画はどうか
- 3 「小諸駅前広場、社会実験」について（パネル使用）
 - (1) 現在の駅前ロータリーのレイアウトについて
 - ① 現在のレイアウトの評価はどうか
 - ② 今後の計画はどうか

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【2】 3番 土屋さつき 議員

- 1 学校の跡地利用について（パネル使用）
 - (1) 学校の跡地利用の今後の見通しについて
 - ① 小学校の活用方法を考えたワークショップの意見を今後どのように跡地利用に反映させるのか
 - ② 令和10年4月に次の用途を決めるために行政目的での活用か民間開放による有効活用かの決定のプロセスと時期はどうか
- 2 小諸市小中一貫教育推進基本方針の実施について（パネル使用）
 - (1) 市内の児童生徒にとってのシビックプライドについて
 - ① 市長が考えるシビックプライド「知り、愛し、誇り、行動する」を市内小中学校の生活科・総合的な学習とコラボレーションできないか
 - (2) 小諸市小中一貫教育の実施に向けて
 - ① 小諸市の小中一貫教育グランドデザインは教育委員会で示す必要があると思うがどうか
 - ② 小中学校統合準備委員会の進捗状況はどうか

(3) 小諸東中学校区の学校再編について

- ① 学校再編等支援業務を委託している業者における小諸東中学校区再編基本計画の進捗状況はどうか
- ② 地域住民、保護者、教職員、児童生徒との再編方法に関する議論の積み重ねや懇話会の立ち上げが必要だと考えるがどうか

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【3】 12番 丸山 正昭 議員

1 「地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち」について

- (1) 「地域の強みを活かした企業誘致とビジネス集積を強化し、地域経済の活性化を図ります」について
 - ① 既存企業や起業者に対する経営、人材育成に関する支援はどの程度実施できたか
 - ② 企業誘致を図るために、提供できる商品としての土地等はあるか
 - ③ 企業誘致件数及び新規雇用の状況はどうか
 - ④ 小諸商工会議所チャレンジ起業相談室の効果をどのように捉えているか
 - ⑤ IT関連企業の集積やサテライトオフィス、シェアオフィスなどの誘致状況はどうか
 - ⑥ 信州小諸ジョブセンターを活用した市内企業への就業支援状況はどうか
 - ⑦ 的確なニーズの把握による信頼度の高い営業とはどのような営業方法か
 - ⑧ 新産業団地への進出企業の見通しはどうか

〔一問一答方式〕

【4】 19番 田中 寿光 議員

1 行政運営について

(1) 官民連携による地域活性化について

- ① 地域活性化起業人制度による活動状況と課題はどうか
- ② 「小諸共学共創コンソーシアム（案）」について小諸市としてどう期待しているのか
- ③ 開校する「小諸義塾高校」との地域連携協働室の具体的連携はどうか

2 厳しい財政運営について

(1) 中期的な財政状況について

- ① 令和8年度の財政調整基金と減債基金の運用状況と今後の見通しはどうか
- ② 金利上昇の中、令和8年度地方債発行の考え方はどうか
- ③ 中期的な財政試算の策定状況と今後の大型財政支出についてどうか

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【5】5番 青木 春美 議員

1 ふるさと納税について

(1) ふるさと納税（個人版）と企業版ふるさと納税について

- ① 寄付金額の推移だけでなく、返礼品経費、事務経費、市民税控除を含めた実質的な財政効果をどのように評価しているのか
- ② 返礼品を通じて市内事業者の売り上げや雇用など地域経済への波及効果をどのように把握しているのか
- ③ ふるさと納税寄付金の使途や成果について、どのような情報発信を行っているのか
- ④ 本市では、企業版ふるさと納税をどのような戦略の下で活用しているのか

2 農業委員会について

(1) 農業委員・農地利用最適化推進委員の活動について

- ① 第25期の取組状況はどうか
- ② 地域計画（目標地図）の策定状況はどうか
- ③ 第26期の改選に向けた課題と期待は何か

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【6】4番 小林 哲子 議員

1 ステップファミリー（子連れ再婚家庭）が抱える課題について（パネル使用）

(1) 手続きの不便さについて

- ① ステップファミリーが抱える手続き上の不便をどの程度把握しているか
- ② 行政と学校・保育現場との連携において、柔軟な運用や周知の工夫を進める考えはあるか

(2) 子どもの相談体制について

- ① ステップファミリーの子どもが抱えやすい心理的負担をどのように認識しているか
- ② 子どもが家族に知られず相談できる仕組み（SNS相談・匿名相談など）はあるか

(3) 虐待・性被害の早期発見と連携について

- ① 家庭内の虐待や性被害のリスクについて、どのように把握し連携体制を整えているか

(4) ステップファミリーの支援について

- ① どのような支援体制が考えられるか

【7】 15番 竹内 健一 議員

1 給食費無償化について

(1) 小学校の無償化について

- ① 2026年4月から国の無償化に対して、対応方針と準備スケジュールはどうか
- ② 児童一人当たりの金額と対象となる児童数はどのくらいか、また、小学校給食費の年間総額はいくらか
- ③ 国の財源措置（交付税措置・補助金等）の内容と、市の実質負担額の見込みはどうか
- ④ 2027年以降の財源はどのように考えているか
- ⑤ 無償化後においても、給食の質・栄養バランス・地元農産物の活用はこれまでどおり確保できるか、また、食材費の上昇に対してどのように対応するのか

(2) 小学校給食費のみ無償化されることについて

- ① 中学校との負担格差について、市はどのように考えているか
- ② 中学校給食費の年間総額と、仮に中学校も無償化した場合の追加財政負担額（試算）はいくらか
- ③ 将来的に中学校給食費無償化への拡充を検討する考えはあるか

2 新たな子育て支援について

(1) 2026年4月から導入する「こども誰でも通園制度」について

- ① 導入する園はどこか、また、受け入れ可能人数はどの程度か
- ② 一時利用の子どもと在園児が混在することによる安全管理・事故防止対策はどのように講じるのか
- ③ 導入により現場の業務量増加が見込まれるが、どのような負担軽減策を講じるのか
- ④ 保育士不足が指摘されるなか、必要となる人員確保の見通しは立っているのか

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【8】 6番 楚山 伸二 議員

1 教育長発言の信ぴょう性と議会との信頼関係について（パネル使用）

(1) 12月議会初日(11月28日)の「予算決算委員会」における教育長・教育委員会の答弁と、教育長名で発出された「芦原新校仮設校舎をめぐる署名活動に関わる内部通報に対する調査・検証結果」内容との間に、複数の食い違いが見られるが、これらの相違点について

- ① 11月28日の予算決算委員会では請願書の原案の作成に学校長は「関わっていない」と答弁しているが、12月22日に教育次長が学校長へ聞き取りを行った結果では、忙しいPTA役員に代わって学校長が作成（清書）したとされていることについて、どちらの内容が事実なのか
- ② 11月28日の予算決算委員会では、「署名は学校で集めたものではなく、地域で集めたと思う」と答弁している一方、調査・検証結果では、調査を要望した市民団体の指摘によると「11月6日の授業参観日に、学校内の複数の場所で署名活動が行われていた」とされ、当日、教育委員会関係者もその場に居合わせ、実態を把握していたことが後に判明していることについて、学校内での署名活動という問題性を、意図的に伏せたのではないか
- ③ 11月28日の予算決算委員会において、PTAの役員方が教育長を訪ねて来たのは何のためで、その時教育長はどんなアドバイスをしたのかとの質問に対し、教育長は「相談を受けた訳でも、何か回答した訳でも、来た訳でもない。一切関わっていない」と答弁しているが、調査・検証結果では、「10月30日に学校長が仲介し、PTA会長・顧問と共に市役所を訪れ、教育長及び教育次長が対応した」と記載されていることについて、大きな発言の食い違いの、その意図は何か

2 交付金の適正な活用について

(1) 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の資金使途について

- ① 交付金は制度の趣旨に沿って全額が適切に事業化されているのか

〔一問一答方式〕

【9】 16番 柏木今朝男 議員

1 人口減少時代における「選ばれるまち小諸」の実現について

(1) 人口の社会増から自然増への転換戦略について

- ① 社会増が続く現状を、自然減の抑制・将来的な自然増へどうつなげていくのか
- ② 若者・子育て世代が「住み続けたい」と思える環境づくりをどう進めるのか
- ③ 人口減少時代における「選ばれるまち」の価値をどう明確化し、発信していくのか

2 「すべての人のいのちが輝くまち」について

(1) 健康づくり・介護予防と「小諸版ウエルネスシティ」について

- ① こもろ健幸マイレージ事業の成果をどのように捉えているか
- ② 今後の健康づくりと介護予防を一体的に進めるための取組は何か
- ③ 「小諸版ウエルネスシティ」を目指すうえで重視するポイントは何か

3 魅力あるまちづくりについて

(1) 動物園100周年とリニューアル戦略について

- ① 開園100周年の捉え方と、持続可能な観光拠点として、どのような基本的な考え方や戦略をもって取り組んでいこうとしているのか

〔一括質問一括答弁方式（件名内）〕

【10】14番 早川 聖 議員

1 芦原新校の児童館（児童クラブ）整備について

(1) 安全安心の居場所づくりについて

- ① 芦原中学校区の再編に伴う新校建設に合わせ、現在の進捗状況はどうか
- ② 単なる預かり施設ではなく、子どもが主体的に過ごせる「居場所」として、専門的な指導員（児童厚生員等）の配置や資質向上のための支援はどう考えているか

2 水明小学校跡地への郷土博物館設置の検討について

(1) 水明小学校の閉校（統合）後、その広大な跡地と校舎等の既存施設を有効活用する計画の検討状況について

- ① 歴史・文化を次世代に継承し、市民の学習拠点や観光資源とするため、郷土博物館や資料館としての利活用を選択肢に加えるべきではないか
- ② 地域のコミュニティ拠点としての機能も併せ持つなど、住民の声を反映させた跡地利用の検討プロセスはどうか

3 移住・定住促進事業の拡充強化と新たな結婚支援事業について

(1) 本市における近年の婚姻件数の推移と、現在の小諸市移住促進補助金の実績・評価について

- ① 小諸市移住促進補助金の実績・評価はどうか
- ② 若い世代が経済的不安なく新生活を始められるよう、結婚支援の対象拡大や補助額の増額など、さらなる拡充を検討できないか

【11】18番 小林重太郎 議員

1 小中学校生活におけるプライバシーと健康への配慮について

(1) 着替えの場所と通学時の服装について

- ① 小中学校内での着替えにおいてプライバシーへの配慮はなされているか（場所など、男女ともに）
- ② 寒い時期の中学校への通学時の服装に健康面での問題はないか
- ③ ①②について、児童生徒や保護者からの声に耳を傾けているか

2 生活困窮世帯や不登校の子どもたちへの支援について

(1) 支援の現状と課題について

- ① 国における法律名が「子どもの貧困対策推進法」から「こどもの貧困の解消に向けた対策推進法」に変わったこと（2024年改正）ことを小諸市としてどう受けとめるか
- ② 小諸市における就学援助率の推移はどのようになっているか、また、基準を満たしているのに申請しない家庭はないか
- ③ 父子家庭への支援の現状はどのようになっているか、また、課題はないか
- ④ 若者（おおむね15才から39才）の状況の把握と支援は多くの課題を抱えていないか
- ⑤ 不登校の子どもたちへの学習支援（ネットの活用なども含めて）では高校等進学も視野に入れているか
- ⑥ 若者及びひとり親世帯や生活困窮世帯の保護者へのキャリアアップの取組はあるか
- ⑦ 心理面への配慮から児童扶養手当の現況届などをデジタルでも受け付けることはできないか
- ⑧ 困難な状況にある、あるいはそれを体験した子どもや若者の意見（生の声）を政策に反映する仕組みはあるか

【12】1番 清水みき枝 議員

1 「一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち」について（パネル使用）

(1) 香害（化学物質過敏症）について

- ① 香害を小諸市はどのような課題として認識しているか
- ② 学校や公共施設において、香料への配慮に関する指針や対応はあるか
- ③ 市民が迷わず相談できる窓口の明確化や、啓発活動の実施、関係部署間の連携体制の整備について、市として今後検討する考えはあるか

2 「高齢者が住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる地域づくり」について（パネル使用）

(1) 移動支援と通いの場の充実について

① 認知症予防や孤立防止の観点から移動支援をどう位置づけているか

(2) 人生会議（ACP）の普及について

① 市としてACPをどの程度市民に周知しているか

② エンディングノート配布後のフォロー体制はあるか

③ 働き世代・単身世帯・若年層に向けた終活啓発の考えはあるか

(3) 家族介護者支援について

① 認知症初期支援とACPを連動させるのはどうか

3 公共交通事業の活用による子ども・若者の移動支援について

(1) 子ども・若者の居場所施策における移動手段の確保について

① 「こもろ愛のりくん」の子ども・若者の利用状況はどうか

② 子ども・若者の居場所への移動支援として活用を検討する考えはあるか

〔一問一答方式〕

【13】11番 田邊 久夫 議員

1 市民に寄り添ったまちづくりについて

(1) 市民生活の向上及び持続可能な地域づくりの取組について

① 切れ目のない子育て支援体制の充実に関する市の考え方はどうか

② 空き家・空き店舗対策の現状と利活用促進の方策はどうか

③ 若者及び子育て世代の市政参画を進めるための仕組みはどうか

④ 観光振興と市民生活の調和を図るための取組はどうか

⑤ 市の施策及び魅力を効果的に発信するための方策はどうか